

ナブテスコ株式会社

2018年12月期第2四半期 決算説明会

2018年8月7日
CEO 寺本 克弘



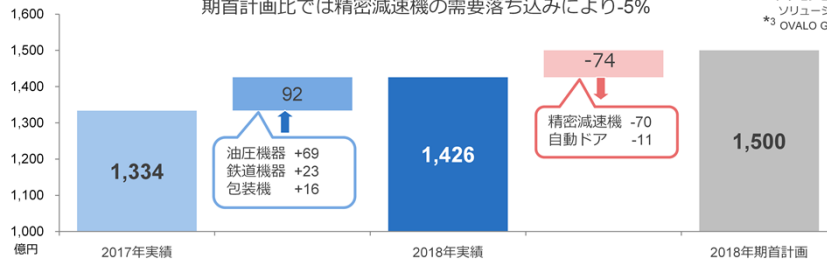
当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

2018年12月期 上期サマリー

売上比較

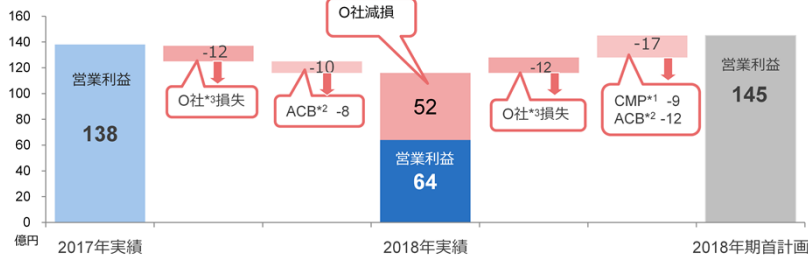
前年同期比では油圧機器の増収により+7%
期首計画比では精密減速機の需要落ち込みにより-5%

*1コンポーネント
ソリューションセグメント
*2アクセシビリティ
ソリューションセグメント
*3 OVALO GmbH



営業利益比較

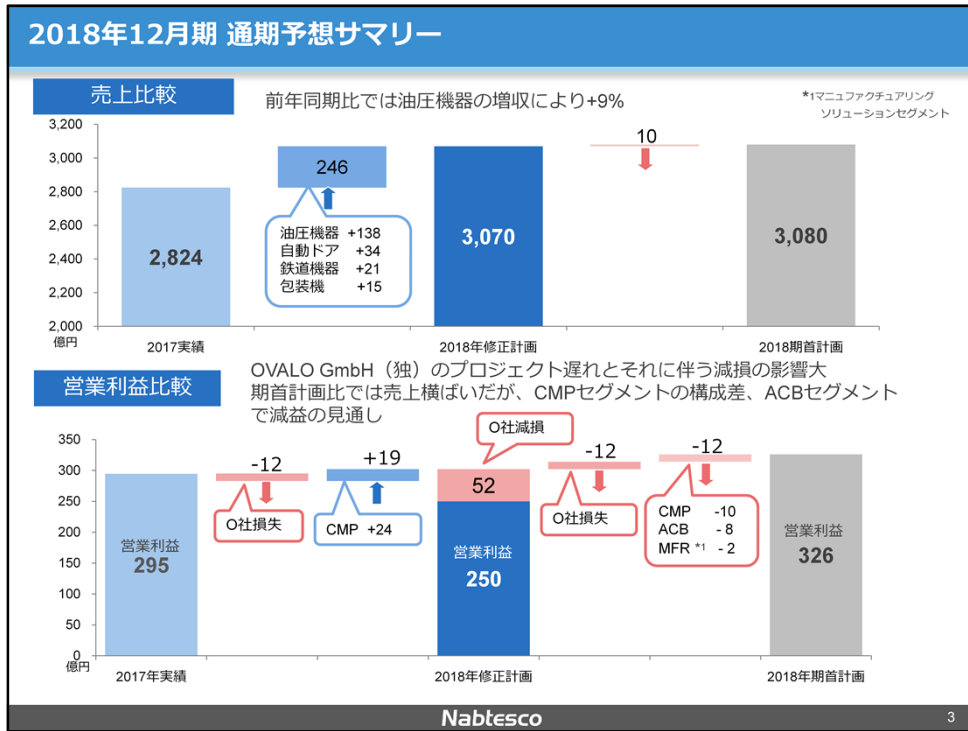
OVALO GmbH (独) のプロジェクト遅れとそれに伴う減損の影響大
前年同期比増収に伴う増益はあったものの、ACB*2セグメントにより減益



Nabtesco

2

今回はいつもの報告コンテンツに加え、上期での減益の要因に関する説明と、通期の見直し変更点について、説明いたします。



CMPセグメントの構成差とは精密減速機の売上が期首計画比で減少していることを言います。
ACBセグメントの減益の理由は後程、各セグメントのスライドで詳細を述べます。

上期 連結業績概況 (IFRS)

■ 前年同期比で増収となるも、ドイツ子会社のOVALO GmbHのプロジェクト遅れとそれに伴う減損および自動ドアで減益
 税引前当期利益では営業利益減少を2018年1Qのハーモニックドライブ社の持分投資利益増加（60億円）により補完

(単位：百万円)	2017/12 上期実績(A)	2018/12 上期計画(B) (2018/2/9 時点)	2018/12 上期実績(C)	前年比増減 (C-A)	計画比増減 (C-B)
売上高	133,359	150,000	142,555	9,196	-7,445
コア営業利益*1	13,866	14,300	11,092	-2,774	-3,208
営業利益	13,761	14,500	6,387	-7,374	-8,113
(営業利益率)	10.3%	9.7%	4.5%	-5.8%	-5.2%
税引前当期利益	16,993	15,700	13,038	-3,955	-2,662
当期利益*2	12,497	10,500	7,886	-4,611	-2,614
一 株 当 た り 純 利 益	101.23円	85.12円	63.62円	37.61円	21.50円
中 間 配 当	34円	36円	36円	2円	-
配 当 性 向	33.6%	42.3%	56.6%	23.0pt	14.3pt

*1コア営業利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

*2当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

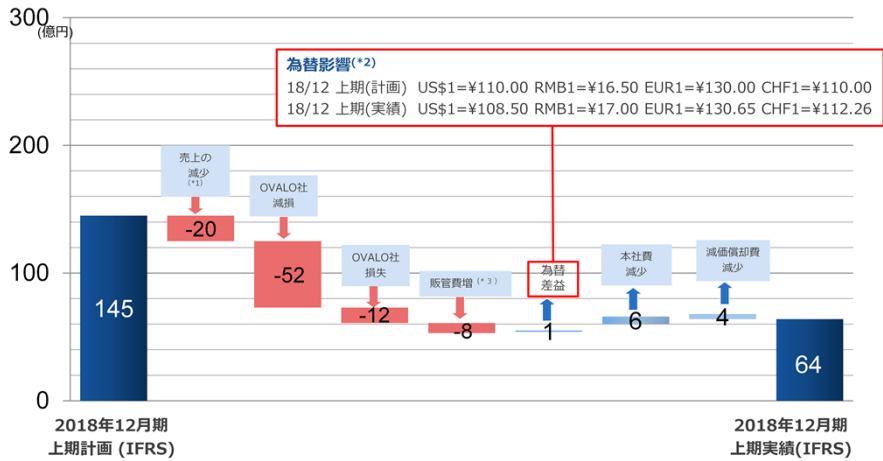
Nabtesco

4

上期配当は36円を取締役会決議しました。

上期営業利益変動要因分析（2018年計画比）

■ 費用の増加で売上増分の利益の成長は限定的 海外子会社のOVALO社で減損（52億円）を実施



*1 & *3 売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

*2 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)：米国ドル 12百万円 人民元 287百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

*3 材料市況、カンパニー販管費等

Nabtesco

5

本社費や減価償却費の減少により、上期計画比で減益幅を圧縮しました。

通期連結業績見通し (IFRS)					
■ 前年同期比では増収増益も、期首計画比では子会社のOVALO GmbHで減損を実施したことにより営業利益で減益の見通し					
(単位：百万円)	2017/12 通期実績 (A)	2018/12 通期計画 (2018/2/9時点) (B)	2018/12 修正計画 (2018/7/31時点) (C)	前期実績比 増減額 (C-A)	通期計画比 増減額 (C-B)
売上高	282,422	308,000	307,000	24,578	-1,000
コア営業利益*1	29,155	32,100	29,800	645	-2,300
営業利益	29,468	32,600	25,000	-4,468	-7,600
(営業利益率)	10.4%	10.6%	8.1%	-2.3pt	-2.5pt
税引前当期利益	34,907	35,900	33,600	-1,307	-2,300
当期利益*2	25,146	25,700	23,600	-1,546	-2,100
ROA	9.0%	8.3%	7.7%	-1.3pt	-0.6pt
ROE	15.9%	14.6%	13.5%	-2.4pt	-1.1pt
一株当たり配当金	72円	73円(予)	73円(予)		
配当性向	35.3%	35.0%(予)	38.3%(予)		

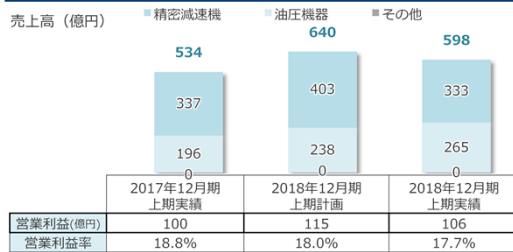
*1コア営業利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
*2当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

Nabtesco 6

売上高は期首計画比10億円減の3,070億円。当期利益は2018/1Qの持株会社であるハーモニックドライブシステムズ社の増資による特別利益などを含め236億円となる見通しです。
配当は安定配当という観点から、現時点では配当性向35%以上の73円を予定しています。

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) : IFRS

上期実績



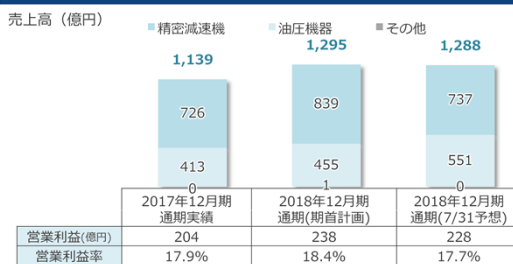
■ 売上

前年同期比では油圧機器の売上が増加。
期首計画比では精密減速機の需要の落ち込みにより減収。

■ 営業利益

前年同期比では増収により増益。
期首計画比では構成比の変化により減益。

通期予想



■ 売上

前年同期比で精密減速機、油圧機器とも
伸長。
期首計画比並みの売上を見込む。

■ 営業利益

前年同期比では油圧機器の増加による
増益。
期首計画比では精密減速機の上期の遅れに
より減益。

Nabtesco

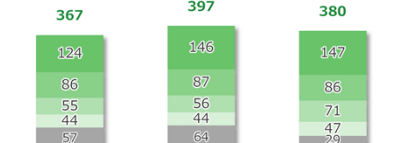
7

減速機需要の落ち込みの要因は、主に北米の自動車メーカーで使用される産業用ロボット向け減速機の受注の弱まりによるものです。

トランスポートソリューションセグメント (TRS) : IFRS

上期実績

売上高 (億円) ■鉄道車両用機器 ■航空機器 ■商用車用機器 ■船用機器 ■その他



営業利益(億円)	39	37	-29
営業利益率	10.6%	9.3%	-7.7%

■売上

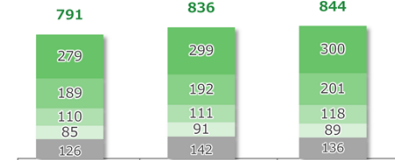
前年同期比では中国高速鉄道向けが減少するも地下鉄向けでカバーし増収。

■営業利益

OVALO社のプロジェクト遅れとそれに伴う減損及び中国高速鉄道向けの売上減による減益。

通期予想

売上高 (億円) ■鉄道車両用機器 ■航空機器 ■商用車用機器 ■船用機器 ■その他



営業利益(億円)	84	93	28
営業利益率	10.6%	11.1%	3.3%

■売上

各事業とも期首計画並みの売上を見込む。

■営業利益

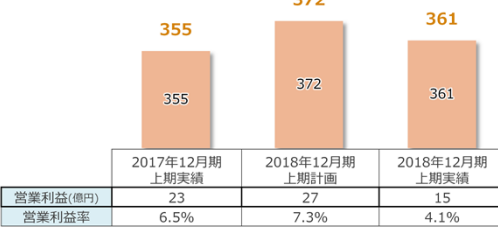
OVALO社のプロジェクト遅れと減損により減益。主要4事業は期首計画並みとなる見通し。

営業利益の上期、通期での減少はOVALO社の減損と損失によるものです。

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) : IFRS

上期実績

売上高 (億円) ■ 自動ドア



■売上

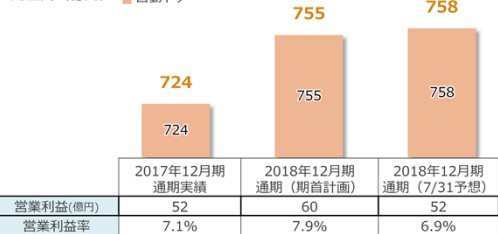
ビルの工期遅れによる建物用ドアの売上減少をプラットフォームドアで補い前年同期比増収。

■営業利益

五輪需要に向けた人員投資、製品構成差、海外プラットフォームドア案件でのコスト増により減益。

通期予想

売上高 (億円) ■ 自動ドア



■売上

プラットフォームドアの増収に加え、建物用ドアの遅れ解消により増収。

■営業利益

上期の未達を吸収できず、52億円にとどまる見通し。

Nabtesco

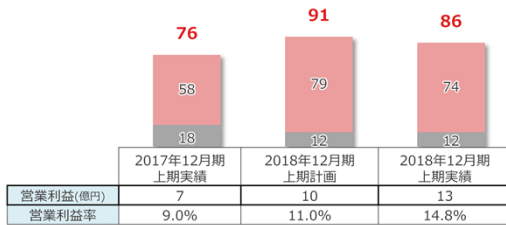
9

建物用ドアで、東京を除く主に東日本エリアで工期遅れが発生しています。上期での営業利益減少要因としては、①五輪に向けた建設需要増を見込み、2017年に増員した分の人件費②2016年に買収したナブコシステムのPost Merger Integrationプロセスでの就労管理システム導入のコスト増加が挙げられます。

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) : IFRS

上期実績

売上高 (億円) ■ 包装機 ■ その他



■売上

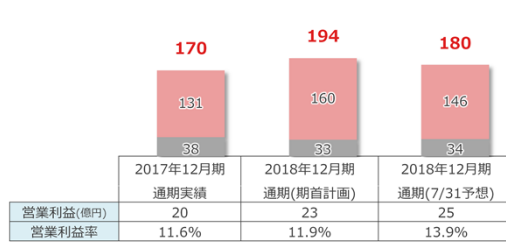
食品向け包装機の売上増加で前年同期比売上増となった。

■営業利益

機械の大型化による収益性向上により計画以上の営業利益となった。

通期予想

売上高 (億円) ■ 包装機 ■ その他



■売上

国内食品向けや海外市場の開拓で売上増加の見通し。

■営業利益

上期の好調を維持し、収益改善の見込み。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■ 将来成長のために、精密減速機を中心に設備投資を実施。

精密減速機：日本工場及び中国工場における生産能力増強

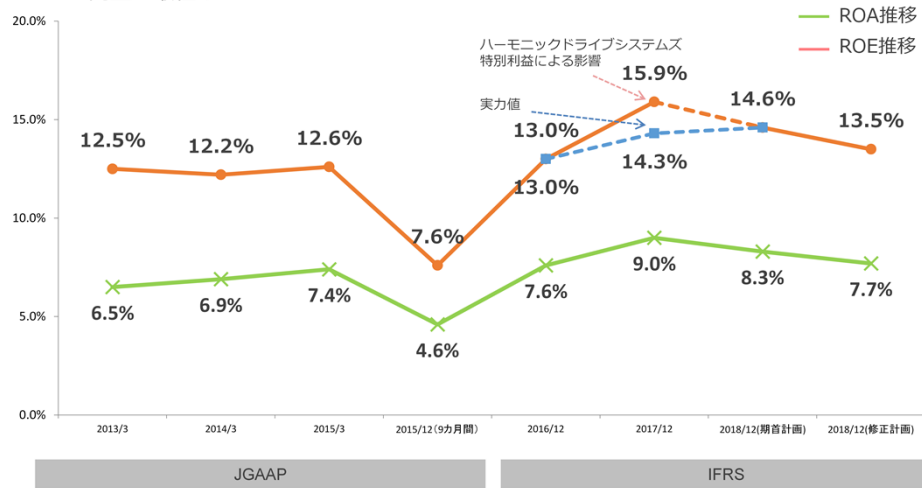
航空機器：新プログラムに向けた増産体制構築

(単位：億円)	2017/12 上期実績 (A)	2018/12 上期実績 (B)	2018/12 通期計画 (C)	対前年同 期比 (B/A)	進捗率 (B/C)	2017/12 通期実績
設備投資額	58	115	304	198%	38%	155
研究開発費	41	52	102	127%	51%	87
減価償却費	39	49	112	126%	44%	90

中期経営計画の進捗～ROE15%達成～

■ ROE15%達成

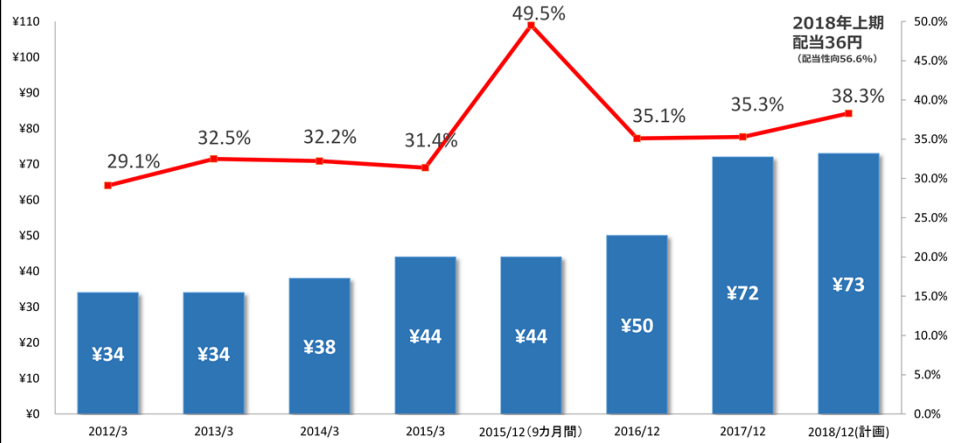
OVALO社の減損によるROE低下はあったが、2020年のROE15%達成を目指し、ROE向上に取り組む



中期経営計画の進捗～連結配当性向35%以上～

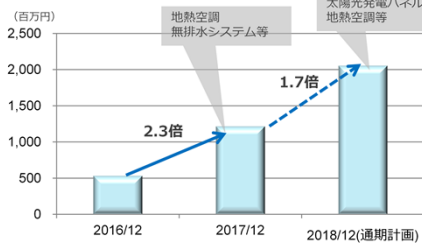
■ 連結配当性向35%以上

期首計画に対し、当期利益は下振れるものの、配当は期首計画通り実施する予定

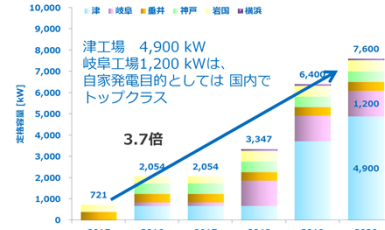


ESG進捗（環境設備投資）

■ E-環境設備投資を積極的に実施

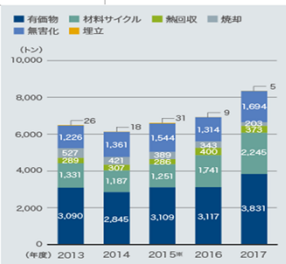


太陽光発電規模



■ E-廃棄物削減活動

排出量の推移



埋立量の推移/ゼロ・エミッション率



ゼロエミッション率
2017年 計画 0.1%
実績 0.06%
(達成)

2020年 目標 0.0%

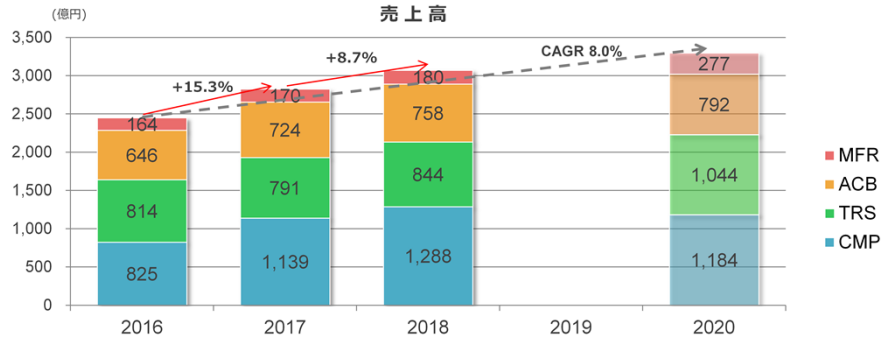
Nabtesco

14

太陽光発電を積極的に導入し、2015年比で2020年に3.7倍の発電規模にする計画です。

中期経営計画売上進捗と2020年売上参考値

■ 2020年に向けて市場成長を取込み順調に推移



	2016年12月期 実績(IFRS)	2017年12月期 実績(IFRS)	2018年12月期 修正計画(IFRS)	2020年12月期 参考値*3(IFRS)
売上	2,450億円	2,824億円	3,070億円	3,300億円
コア営業利益	252億円	292億円	298億円	420億円
営業利益	260億円	295億円	250億円	300億円
営業利益率	10.6%	10.4%	8.1%	
当期利益*1	186億円	251億円*2	236億円	

*1当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 *22017年12月期実績当期利益には28億円の持分法による投資利益を含む

*3 2017年中期計画発表時の2020年参考値

Nabtesco

15

2018年のCMPの計画値は既に2020年の売上参考値を超えているので、2018年中に見直す予定です。

2018年上期トピックス



Audi社と共同プロジェクト

Audi社との共同プロジェクトを開始いたしました。

OVALO GmbH/adcos GmbH 概要

	OVALO GmbH	adcos GmbH
所在地	Limburg an der Lahn (Germany)	Köln (Germany)
取扱商品	シャシー・システム、エンジン・システム製品	開発用ECU*、ソフトウェア
連結売上高 (2017/12期末実績)	約30億円	
買収金額	約100億円	



*開発用ECU(Electric Control Unit)：実機搭載用コンピューターを設計・製造する前に、RCP(Rapid Control Prototyping)で使用する開発専用コンピューター
 *RCP: モデルベース開発で再現したソフトウェア等を開発専用のコンピューターにダウンロードし、実際に動かすことにより確認、改良する開発手法



Nabtesco

17

Audi社との共同プロジェクトによる売上は、遅れが生じているもの将来に向かって進捗しています。

Corporate Venture Capital 設立

Nabtesco

Nabtesco Technology Ventures AG

2018年6月13日 Nabtesco Technology Ventures AG設立
(スイス、チューリッヒ、代表取締役社長 練馬 洋)
・ファンド設定額 €75百万 (約100億円)
・モーションコントロール技術等のスタートアップに投資

emerald

Technologiefonds

Nabtesco



2018年6月20日
Emerald Technology Ventures との間
で戦略的パートナーシップを構築



Nabtesco

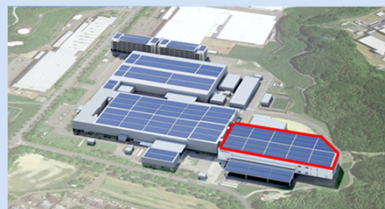
18

カンパニーの設計開発以外に、本社での開発体制がありますが、更にスタートアップ企業への投資などで、ナブテスコの周辺事業の拡大を図るべくCVCを設立しました。

精密減速機 – 生産能力増強とRV-Z(ゼータ)新シリーズ減速機 発表発売

◆生産能力増強状況◆

能力増強の一環として2019年竣工をめざし、現在津工場の現有敷地内に北西工場（赤線部分）を建設中。**2020年時点には2016年末比約2倍の120万台**（日本+中国工場での定時生産能力）となる予定。



◆新シリーズ減速機 RV-Z（ゼータ）◆

累計800万台以上の実績を有する精密減速機RVの最新モデルとして、新たに『RV-Z シリーズ』を発売しました。

本シリーズは、業界最高レベルである「高精度」「高剛性」の精密減速機RVに最新の要素研究成果を取り入れた新設計を行うことで「ねじり剛性」、「モーメント剛性」、「トルク密度（トルク/重量）」を従来品より大幅に向上させた新商品です。

新たに本シリーズを投入することで、産業用ロボットを従来と比べ「より高精度に」、また「より軽量・コンパクトに」といったお客様のニーズに応え、産業用ロボットの更なる進化に貢献いたします。尚、当社では**2020年に当シリーズで170億円の売上**を目指しております。

Nabtesco

19

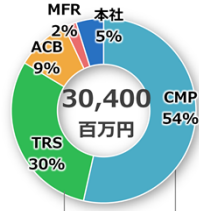
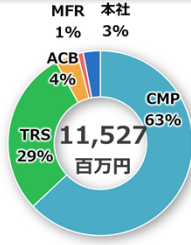
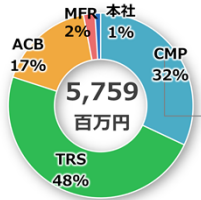
精密減速機の実産能力の増強は順調に進めています。
新型減速機シリーズはねじり剛性、モーメント剛性、トルク密度を向上させたものであります。

Appendix



設備投資額内訳

セグメント別

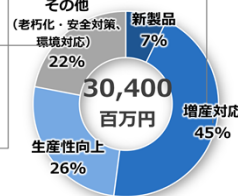
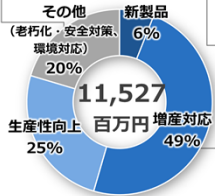
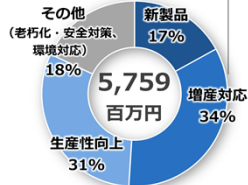


- 精密減速機
- 日本中国での増産投資

- 環境関連投資
- 研究開発関連投資

- 精密減速機
- 日本中国での増産投資
- 航空機器
- 岐阜工場設備増強

目的別



2017/12上期実績

2018/12上期実績

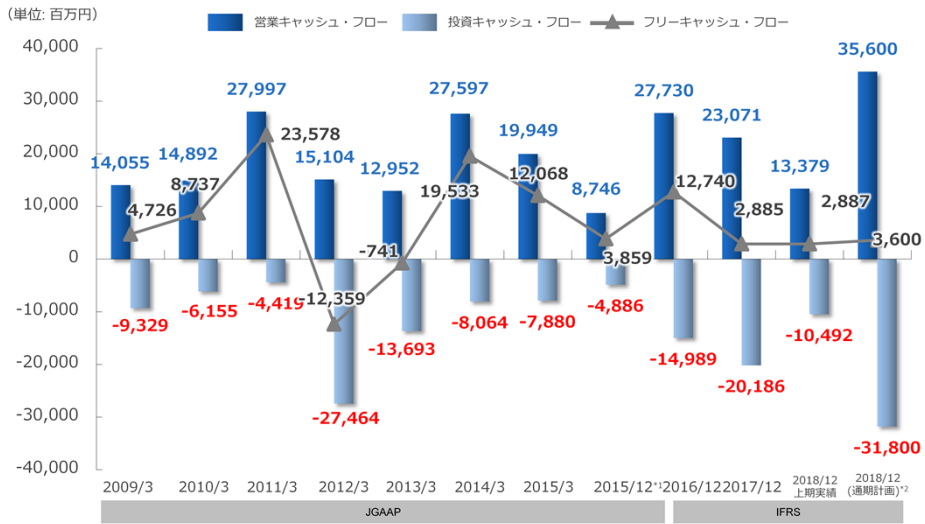
2018/12通期計画

BS概況 (IFRS)

(単位：百万円)

	2017/12期末 2017年12月31日現在	2018/12期第2四半期末 2018年6月30日現在	差異
資 産	301,557	306,872	5,315
(現 預 金 等)	44,121	42,859	-1,262
(営 業 債 権)	76,874	70,474	-6,400
(棚 卸 資 産)	40,298	44,181	3,883
(有 形 固 定 資 産)	70,700	76,591	5,891
負 債	124,556	126,531	1,975
(社 債 及 び 借 入 金)	27,720	28,924	1,204
資 本	177,002	180,340	3,338
(非 支 配 持 分)	9,465	9,751	286
親会社所有者帰属持分	167,537	170,590	3,053
親会社所有者帰属持分比率：	55.6%	55.6%	-

連結キャッシュ・フロー

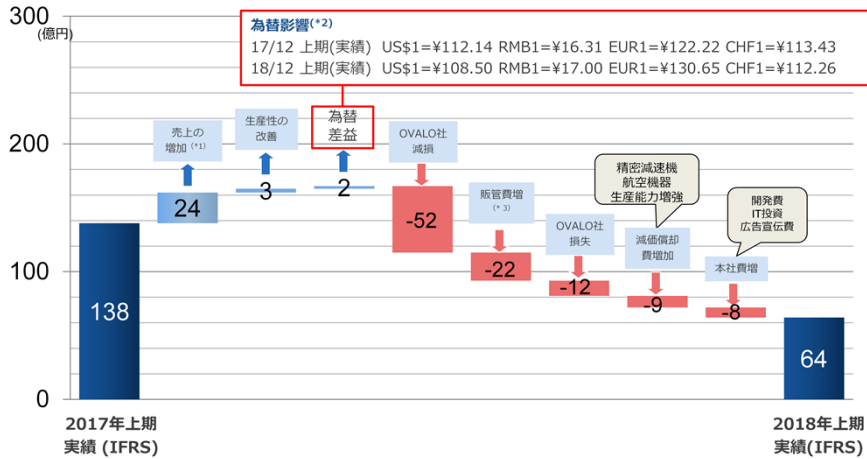


^{*1} 「2015年12月期末(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期末(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますので留意下さい。

^{*2} 2018年2月9日時点の計画地を使用しています。

上期営業利益変動要因分析（2017年実績比）

■成長投資としての販管費・減価償却費の増加とOVALO社の減損・損失により前年同期比で減益となった。



*1 & *3 売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

*2 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)：米国ドル 12百万円 人民元 287百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

*3 材料市況、カンパニー販管費等

上期セグメント別業績概況（新セグメント:IFRS）

(単位：百万円) セグメント	項目	2017/12 上期実績	2018/12 上期実績	2018/12 通期修正計画
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	53,412	59,814	128,800
	営業利益 (営業利益率)	10,030 (18.8%)	10,587 (17.7%)	22,800 (17.7%)
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	36,722	38,045	84,400
	営業利益 (営業利益率)	3,900 (10.6%)	-2,938 (-7.7%)	2,800 (3.3%)
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	35,540	36,076	75,800
	営業利益 (営業利益率)	2,304 (6.5%)	1,463 (4.1%)	5,200 (6.9%)
マニファクチャリング ソリューション (MFR)	売上高	7,684	8,620	18,000
	営業利益 (営業利益率)	695 (9.0%)	1,278 (14.8%)	2,500 (13.9%)
全社または消去		-3,168	-4,003	-8,300
連結合計	売上高	133,359	142,555	307,000
	営業利益	13,761 (10.3%)	6,387 (4.5%)	25,000 (8.1%)

通期セグメント別業績概況 (IFRS)

(単位：百万円) セグメント	項目	2017/12 通期実績	2018/12 通期期首計画	2018/12 通期修正計画	2020/12 中期計画参考値
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	113,885	129,500	128,800	118,400
	営業利益 (営業利益率)	20,432 (17.9%)	23,800 (18.4%)	22,800 (17.7%)	22,200 (18.8%)
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	79,134	83,600	84,400	104,400
	営業利益 (営業利益率)	8,383 (10.6%)	9,300 (11.1%)	2,800 (3.3%)	17,200 (16.5%)
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	72,374	75,500	75,800	79,200
	営業利益 (営業利益率)	5,168 (7.1%)	6,000 (7.9%)	5,200 (6.9%)	7,900 (10.0%)
マニユファクチャリング ソリューション (MFR)	売上高	17,029	19,400	18,000	27,700
	営業利益 (営業利益率)	1,983 (11.6%)	2,300 (11.9%)	2,500 (13.9%)	3,200 (11.6%)
全社または消去		-6,498	-8,800	-8,300	-8,500
連結合計	売上高	282,422	308,000	307,000	330,000
	営業利益 (営業利益率)	29,468 (10.4%)	32,600 (10.6%)	25,000 (8.1%)	42,000

中期経営計画でのコミットメント

ROE15%達成

連結配当性向35%以上

ESG課題の解決に注力

Nabtesco

27

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

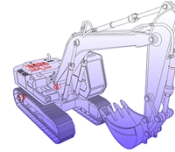
精密減速機

■産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■パワーショベル用走行ユニット



■風力発電用駆動装置



主要顧客 (敬称略)

■精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)
 工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■油圧機器

走行ユニット：コマツ、コベルコ建機、住友建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)
 風力発電機用駆動装置：三菱重工業、日立製作所、他

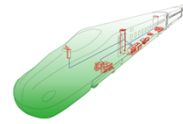
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器

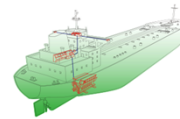
■ 商用車用ウェッジチャンバー Others Nabtesco 70% **No.1** 国内シェア約**70%**

■ 商用車用エアドライヤー Others Nabtesco 75% **No.1** 国内シェア約**75%**



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム Others Nabtesco 50% **No.1** 国内シェア約**50%**
(世界シェア約40%)



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、三井造船、(株)マキタ、日立造船、三菱重工業、
Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。
Nabtesco

